

**第30回微粒化シンポジウム**  
Thirtieth Symposium (ILASS-Japan) on Atomization

日本液体微粒化学会  
第30回 微粒化シンポジウム実行委員会  
委員長 森上 修

**新型コロナウイルス感染状況に鑑み、第30回微粒化シンポジウムはオンライン形式を基本として、状況に応じて現地とのハイブリッド形式による開催とします。**

**8月末に開催方法を最終判断する予定です。最新情報は、日本液体微粒化学会のホームページ(<https://www.ilass-japan.gr.jp/>)をご確認下さい。**

**主催** 日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan)・日本エネルギー学会

**協賛** ILASS-Korea, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会, 可視化情報学会, 自動車技術会, 静電気学会, 石油学会, 日本画像学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エアロゾル学会, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本工業炉協会, 日本航空宇宙学会, 日本混相流学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本伝熱学会, 日本塗装技術協会, 日本塗装工業会, 日本燃焼学会, 日本農作業学会, 日本バーナ研究会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本薬学会, 日本流体力学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業農村工学会, 農業生産技術管理学会, 粉体工学会, 粉体粉末冶金協会 (依頼中含む)

**1. 開催趣旨** 微粒化技術は、エネルギー機器・粉体製造・医薬・農薬・食品・塗装・環境制御などに広く利用されており、その重要性はますます高まっています。本シンポジウムは、多方面からの研究者・技術者が集まり、研究成果や研究開発中に生じた問題点や解決策の報告を通して、産官学が一体となって微粒化技術の新しい展開を図ることを目的としています。

**2. 開催要領** 日程：2021年12月16日(木) - 17日(金)  
場所：WebExによるオンライン開催(状況が改善した場合はハイブリッド開催)  
ハイブリッド開催時の現地会場：九州大学医学部百年講堂  
(〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1)  
アクセス詳細：<https://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/access>

**3. 内容** 一般講演、特別講演および微粒化関連の機器展示とカタログ展示等を企画しております。

特別講演：◆ 稲村 隆夫 先生

オーガナイズドセッションのテーマとオーガナイザ

次世代代替燃料 田島 博士 (九州大学)

- 一般講演：◆ 噴霧燃焼, 噴霧冷却, 表面処理等の工業技術における微粒化  
◆ コロイド, エマルジョン等の化学工業における微粒化  
◆ 液体の分裂機構, 噴霧の挙動, 二相流等の流体力学的解明と微粒化  
◆ 液滴の蒸発・混合気形成過程, 混相流, マイクロバブル  
◆ その他微粒化関連分野

一般講演の種類：次の2つがあります。

- (1) 研究講演 [A4原稿4 - 8頁]：研究や開発の成果を公表するもの。
- (2) 速報講演 [同2 - 4頁]：研究や開発途中の新事実や問題点を指摘するもの。  
資料や事例なども含みます。

なお、講演の採否は学会にご一任下さい。

優秀講演賞：2021年1月1日時点で40歳以下の若手講演者を対象にした優秀講演賞の表彰を行います。

日本エネルギー学会奨励賞：日本エネルギー学会の会員で講演時に35歳以下の方は日本エネルギー学会奨励賞候補者の推薦対象になります。

#### 4. 講演申込方法

- (1) 講演申込： **2021年8月31日(火)**までに Web サイト (<https://www.ilass-japan.gr.jp/>) からお申込ください。
- (2) 論文原稿締切：**2021年10月15日(金)**までに、執筆要領にしたがって作成した原稿のPDF ファイルを「講演論文担当事務局」宛に送付して下さい。原稿フォーマットは Web サイトよりダウンロードして下さい。なお、原稿はシンポジウムの講演論文集に掲載されるだけでなく、その一部が日本液体微粒化学会発行の学会誌「微粒化」に掲載されるシンポジウム報告等の記事に転載されることがあります。

—講演論文担当事務局—

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1

九州大学大学院 総合理工学研究院 環境理工学部門

「第30回微粒化シンポジウム」講演論文担当幹事 鶴 大輔

TEL：092-583-7893 E-mail：dtsuru@ence.kyushu-u.ac.jp

- (3) 講演方法について

講演時間は25分（発表15分，討論10分）を予定しています。

#### 5. 参加申込方法

参加要領は以下のとおりです。（講演者も参加申込が必要です。）

- (1) 参加費：シンポジウム参加費には講演論文集代を含みます。なお、協賛学協会の会員の方々は「会員」の資格で参加できます。

シンポジウム参加費	会 員	6,000円
	非会員	11,000円
	学 生	3,000円

技術懇談会 実施しません

※非会員の方はこの機に是非ご入会下さい。（年会費：[正員:3000円，学生員:1000円]，入会金：なし） 入会方法については学会ホームページをご参照下さい。

- (2) 申込方法：**2020年12月3日(金)**までに、Web サイト (<https://www.ilass-japan.gr.jp/>) からお申し込みのうえ、Paypal を通じて参加費の合計額をお振り込み下さい。期日までにお申し込み頂いた方に、WebEx 接続先をお届けします。なお、期日以降および当日の参加申し込みは受け付けませんのでご注意ください。

—参加担当事務局—

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門

「第30回微粒化シンポジウム」参加担当幹事 井上 智博

TEL：092-802-3018 E-mail：inoue.chihiro@aero.kyushu-u.ac.jp

## 6. 実行委員会

委員長	森上 修 (九州大学)
幹事・財務担当	井上 智博 (九州大学)
幹事・講演論文集担当	鶴 大輔 (九州大学)
幹事・会場担当	安藤 詩音 (九州大学)
幹事・広報担当	尾形 陽一 (広島大学)
幹事・表彰担当	瀬尾 健彦 (山口大学)
幹事・機器展示依頼担当	駒田 佳介 (福岡工業大学)
委員	天谷 賢児 (群馬大学), 座間 淑夫 (群馬大学), 野村 浩司 (日本大学)